

ことわざ 「親の背を見て子は育つ」

・・・“言葉”以上に伝わる“ふるまい”と“生き方”・・・



「親の背を見て子は育つ」ということわざは、子供は言葉そのものより親や身近な大人の日々の行動・しぐさ・態度から多くのことを学びとるという意味です。

子育てをしていると、つい「こうしなさい」「それはダメ」と言葉で伝えることが中心になりがちですが、実は何より子供の心に強く残り、人格を作っていくのは私達大人自身の“ふるまい”なのです。

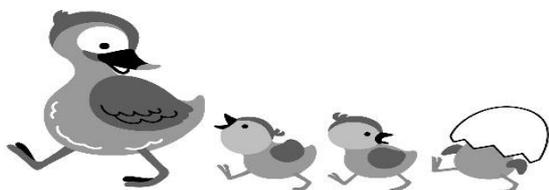
たとえば挨拶。朝の「おはよう」、ご飯を作ってくれた人への「ありがとう」、失敗したときに素直に伝える「ごめんなさい」。こうした日常の小さな言葉づかいや態度こそが、子供にとっての“人としての基本”になります。それは決して「教え込む」ものではなく、親や身近な大人が普段から自然に使っていることで、子供は当たり前前の習慣として身につけていきます。

一方、イライラしてきつい言葉が出てしまったり、他の人の悪口ばかり言っていると、その姿も同じように子供に伝わります。大人が言葉では「仲良くしなさい」と言っているのに日頃の態度に思いやりや優しさがなければ、その思いは届きにくいものです。子供にとっては言葉よりも行動の方が大きなメッセージとして残るのです。

子育ては「言って聞かせる」こと以上に、「見せて伝える」ことが大切です。親や身近な大人の背中が、子供にとっての最初の教科書であり生き方そのものです。毎日一緒に過ごす中で、子供は私たちの背中から、言葉以上のたくさんのことを感じ取り、吸収しています。

とはいえ、私たち大人も完璧ではありません。時には失敗するし、怒りすぎてしまうこともあります。そんな時は「ごめんね」「さっきは怒りすぎたね」と、素直に伝える姿を見せることも大切です。大人が間違いを認め、気持ちを言葉にする姿から、子供は人との関わり方を学んでいきます。

「こんな人になりたいな」と思ってもらえるようなそんな背中であられたら素敵ですね。



< 参考図書 >

- ・島根淳子「子どもは親を見て育つ」 / かもがわ出版
- ・下田礼子「親の行動が子どもを変える」 / 明治図書出版

個別相談 まずは、お電話ください。

電話・FAX 0893 (24) 4580
月・火・木・金 午前9時～午後4時
【大洲子育てサポート“そよ風”】
大洲市アフタースクールおおず内（元大洲幼稚園）
大洲市大洲715

☆そよ風のホームページを開設!

そよ風HP
こちらから

